

MITSUBISHI

Changes for the Better

CSRの | 社会貢献活動 2009
取り組み | Philanthropic Activities

 三菱電機株式会社

目次

社会貢献活動	1
社会福祉	3
地球環境保護	6
科学技術振興	11
地域貢献	12
文化・スポーツ	14
災害支援	16
あゆみ	17
<hr/>	
アーカイブス	19
社会福祉	20
地球環境保護	22
地域貢献	23
文化・スポーツ	24
災害支援	25

社会貢献活動



誰もが笑顔で過ごせる社会を創るために、みんながやさしさをもって新しい社会に共存できるように、三菱電機は、「技術、サービス、創造力の向上を図り、活力とゆとりある人間社会の実現に貢献する」という企業理念に基づいた社会貢献活動を広く国内外で行っています。

重点3分野

当社では、特に社会福祉、地球環境保護、科学技術振興の3分野に重点をおき、更に地域社会、文化・スポーツ交流の分野でもたくさんの人と出会える機会を広げています。

社会福祉

誰もがいきいきと暮らせる社会をめざして、障がい者の方への支援・基金活動や高齢者の方への医療支援など積極的に取り組んでいます。

地球環境保護

省エネルギー・省資源・リサイクルなど、企業活動の全ステージにおいて地球環境への配慮を忘れることなく、きめ細かい活動を続けています。

科学技術振興

次世代の新技术を担ってゆく若い人たちの向学心や探求心を伸ばすために、中学・高校生の表彰や奨学金支給などで応援しています。

社会貢献活動推進体制

当社では国内各事業所のみならず、国内外関係会社においても、各種社会貢献活動を推進しています。



関連情報

サイトプリント & e-BOOK

選択したページを、表紙・目次付きのPDFで印刷したり、e-BOOKで本のようにご覧いただくことができます。

[詳しくはこちら](#)

 キー・テクノロジー

 the beauty of NATURE

めざせ!1人、1日、1kg CO₂削減

APPEAL TO THE THE GOVERN

みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

トピックス

2009年03月31日 社会貢献活動をリニューアルしました。

地域貢献

心安らぐ地域づくりのために、良き企業であり良き市民であることをめざし、全国で展開している様々な活動をご紹介します。

あゆみ

三菱電機のこれまでの社会貢献活動の歴史をご紹介します。

文化・スポーツ

国境や言葉の垣根を超えて世界に広がる文化・スポーツの活動をご紹介します。

アーカイブス

過去の社会貢献活動についてご紹介しています。

災害支援

災害時の支援について

社会福祉

もう少しのサポートがあれば、こんなことができるのに。こんなに助かるのに。こんなに楽しくなれるのに。その“もう少し”をお手伝いして、誰もがいきいきと暮らせる社会をめざして・・・。
障がい者の方への支援・基金活動や高齢者の方への医療支援などさまざまな活動に積極的に取り組んでいます。

SOCIO-ROOTS(ソシオルーツ)基金

1992年に開始した「三菱電機SOCIO-ROOTS(ソシオルーツ)基金」は、社員からの寄付と同額を会社が拠出するマッチングギフト制度です。善意の寄付を倍にするこの基金には毎年1,000名以上にのぼる社員が参加しており、2009年3月時点で累計約1,200件、金額にして5億3千万円を社会福祉施設などに寄付しています。

また最近では、社会福祉に環境保全要素が加わった寄付案件や、災害支援にも広がりを見せており、2007年度には、会社表彰金に三菱電機SOCIO-ROOTS基金を適用して、(財)オイスカ(主にアジア・太平洋地域で農村開発や環境保全活動を展開している国際NGO(非営利組織))の、マレーシア「子供の森」計画に支援を行いました。

三菱電機は今後も社員の善意を大切に、地道で地域に根ざした活動を展開してまいります。



2007年10月 本社にて贈呈式を実施



2008年4月「子供の森」計画の現地である、マレーシア・サバ州に赴き植林活動に参加

米国三菱電機財団

1991年2月に基本財産1,500万ドルで設立し、2006年に15周年を迎えました。これまで、600万ドル(約7億円)を超える寄付を実施しており、米国の障がい者支援のための多彩な活動を展開中です。

米国三菱電機財団(MEAF www.meaf.org) 



「あしながPウォーク10」に参加しました！（北陸）

2008年11月9日（日）福祉活動の一環として、地球規模の遺児支援のボランティア活動「あしながPウォーク10」の石川コースに、石川県下の三菱グループで構成している「石川菱友会」とともに119名が参加し、北陸支社から子供を含め14名が参加しました。当日は金沢中央公園を出発し、金沢城近辺の約10kmを2時間かけてウォーキングしながら、日頃の運動不足を解消するとともに爽やかな汗をかきました。この活動は参加費が「あしなが育英会」に寄付され教育支援活動費用として活用されるというものです。私たち自身がフィランソロピーについて考える良い機会となり、今後も継続して参加していきます。



障がい者ハートフル海外旅行事業（稲沢）

稲沢地区では、身体・知的障がい者の方と、そのご家族の方を対象とした「ハートフル海外旅行」を移動手段や現地での観光、食事、宿泊ホテル等、障がいをお持ちの方に安心して旅行を楽しんでいただける様に考慮したプログラムを組み、全行程に当社社員が同行してフルサポートを行います。

障がいがネックになって、一般の海外ツアー旅行に参加しづらい方も、僅かな自己負担額で安心して海外旅行を楽しめるということで、地域の皆様からもご好評をいただいています。

例年10～20名の方をハワイ、シンガポール、グアムにご招待しており、平成21年現在、累計での招待者数は約200名になりました。



米国三菱電機 若年障がい者との室内ゴルフ大会（米国）

2008年10月9日から11月7日の間、全米の米国三菱電機各社で、三菱電機米国財団主催の「三菱電機室内ゴルフ大会」が開催され、1,000名を超える従業員が参加し、US \$ 51,000もの寄付金が集まりました。

「室内ゴルフ大会」は2003年から始まったもので、エンジニアなどの従業員自らが各専門性を活かしてコースを設計し、ハロウィーンやゲームを形取ったコースなどもあります。優れたコースには「最優秀デザイン賞」を授与しており、2008年は「ゴジラin東京」が受賞しました。

また「最高額寄付賞」も授与され、取引先からの寄付分も合わせてUS \$ 10,000を寄付した会社もありました。ユニークな点としては、若い障がい者を招待し、一緒にプレーしていることであり、「手軽にできるこの競技に若いアスリートを招待できて光栄です」とホスト役を務めた社長自らが挨拶をし、大会を盛り上げました。



APEXデイケアセンターとの観覧車乗車ボランティア（シンガポール）

APEXデイケアセンターは、身体障がい者のお年寄りを1日預かり、リハビリテーションを行う施設です。継続的なりハビリが必要な恵まれない人が集まり、社会的な交流を持つことも目的としています。

旧正月の2009年2月6日、20人の三菱電機アジアの従業員達が、30名のお年寄りを、アジア観光で最大のアトラクションでもあるシンガポールフライヤー（観覧車）にお連れしました。参加された全員の方が初めての乗車体験でした。いつも乗りたいと思っていた観覧車に乗ることができ、皆さんに、とても喜んでいただきました。

また赤いお年玉袋（アンパオ）を皆さんにお渡し、旧正月に縁起を担ぐこともできました。



古着リサイクル活動(台湾)

2009年の旧正月に、三菱電機台湾は社内に古着のリサイクルBOXを設置し、「台北市心理復健家族総合協会」(台北市知的障がい者リハビリテーション協会)に古着を寄贈しました。

当該協会は知的障がい者の社会復帰を支援しており、古着リサイクルは社会的自立支援の一つのプログラムとなっています。

三菱電機台湾の従業員は、この活動を通じ、知的障がい者の自立を支援すると共に、環境を意識した活動を行っています。



地球環境保護

人間ばかりでなく自然界にあるものがいっしょに呼吸している地球・・・。

省エネルギー・省資源・リサイクルなど、企業活動の全ステージにおいて地球環境への配慮を忘れることなく、21世紀のグローバル企業としてきめ細かい活動を続けています。

社員参加型プログラム「里山保全プロジェクト」

当社は、2007年10月より「里山保全プロジェクト」をスタートさせました。愛知県名古屋市内の県有林や、兵庫県篠山市の森林組合所有林などで、「地道と継続」をキーワードに、各地域の状況に合った自然回復活動を段階的に展開していきます。安心・安全な地域づくりに参画することで、地域の方々とのコミュニケーションを深めていきたいと考えています。



本社地区では、住友林業様ご協力のもと、富士山の自然林復元活動を続けています。社長、副社長ほか会社幹部も積極的に参加しています。

各地区の活動

名古屋地区 | 神戸地区(兵庫) | 中津川地区 | 静岡地区 | 本社地区(東京)

桜の名所『松川』を、秋はコスモスの花で彩り鮮やかに！（北陸）

2002年から社会貢献活動の一環として富山県下の三菱グループで構成している「富山三菱会」が中心となり、清掃美化活動を行っております。今年度は2008年5月17日（土）に開催し、富山市の桜の名所として知られる松川周辺を“秋にはコスモスの花で彩ろう”と、除草作業とコスモスの種蒔きを行いました。参加企業35社、約150名が参加し、陸支からは20名が参加しました。観光名所の松川がきれいになる喜びと同時に、秋のコスモス開花が待ち遠しく、さわやかな汗をかいた一日でした。



花壇維持・管理活動「三菱電機グループ・花ボランティア」(中国地区)

中国支社では、広島市が策定した「広島市緑の基本計画(グリーン・パートナー事業)」に賛同し、2006年から広島市中心部を東西に走る、通称「平和大通り」沿いに設けられている花壇の維持管理活動を行っています。十数名のボランティアグループで発足した活動も、現在は関係会社にも輪を広げ、「三菱電機グループ・花ボランティア(通称名:花ボラ)」として活動を行っています。主な活動内容は、毎週水曜日の昼休憩や定時後を利用して花壇への水やり、除草、花ガラ摘みなどの活動のほか、半年に1回、支社長をはじめ幹部社員、社員家族も参加し、花苗の植替え作業も行っています。今後も、地球環境を保護し、子どもたちの未来を守るため、この活動を拡大、継続していきたいと思っております。



花苗植替参加メンバー／2008年11月29日

清掃ボランティア活動「ラブアースクリーンナップ2008」(九州)

九州地区では、2007年から福岡市主催の大規模清掃活動「ラブアースクリーンナップ」に参加しており、2008年度は関係会社15社(48名)を含む総勢123名が、お揃いのユニフォームを着て三菱電機グループとして参加しました。このようなボランティア活動に参加すると共に、子供も含め地球環境を考える1日を過ごすことも大切と考え、今後も参加の輪を広げながら継続していきます。



芝桜植栽ボランティア活動(群馬)

第25回全国都市緑化群馬フェア(2008年3月29日(土)～6月8日(日)開催)の太田会場を芝桜の丘にするための芝桜植栽作業をボランティア活動として実施しました。(2007年4月14日(土))芝桜の植栽場所は傾斜地のうえ、ごろ土と砂利に悩まされて悪戦苦闘の作業の中、参加者各々が芝桜の苗100株を植え込みました。一年後、芝桜は見事に咲き揃い、フェア来場者を楽しませてくれました。また、フェア開催中には会場運営サポートのボランティアを行いました。2009年度からは、毎年4月に「芝桜祭り」を開催する事が決定し、会場整備ボランティアに参加する予定です。



みつびしでんき親子野外教室 西山公園「枯葉、草木の実で遊ぼう」(京都)

京都地区では2008年11月30日(日)にみつびしでんき親子野外教室を長岡京市西山公園で開催しました。

参加者は京都製作所の社員や家族25人。3回目を迎える今回は、光明寺から西山公園までの散策コースを草花観察、落ち葉収集、葉っぱの裏に貼りついて冬を越すさなぎや幼虫、成虫など生き物の生態をルーペを持ちながら観察しました。歩きながら木の実、葉を集め、西山公園でどんぐりのコマや葉っぱで図画を親子一緒に作成し、全員が自然に触れることができ、楽しく自然を学んだ子供たちは、次回の開催を心待ちにするなど自然に対する関心が高まりました。



「瑞ヶ池公園の桜を育てる会」兵庫県緑化等功労者表彰受賞(兵庫)

皇太子殿下ご臨席のもと兵庫県立有馬富士公園で開催された「第29回全国育樹祭」において、「瑞ヶ池公園の桜を育てる会(北伊丹地区北師会、班長自主研、OB会、社員有志で構成)」が、20年にわたる緑化推進活動を評価され、緑化等功労者表彰を受けました。



まちかどクリーン作戦(兵庫県神戸市兵庫区)

阪神大震災の街を元に戻そうと1997年から兵庫区全域で進められている活動です。神戸地区の事業所ではJR兵庫駅を朝7時ごろに出発し、会社までの約2Kmを約30分かけてゴミ拾いをしています。

年3回(1月、4月、9月)で、労働組合と会社の合同開催で平均1回約100名の方が参加しています。路上に落ちている吸殻、空き缶、ペットボトル等のゴミを拾っています。



「河川草刈り&工場周辺清掃」(熊本)

熊本工場では、工場近隣の「上生(わぶ)川」の草刈り及び工場周辺の清掃作業を例年4月に行っています。2008年は4月5日(土)に開催し、関係協力会社および地域の方々も参加いただき、総勢118名で実施しました。当日は8:45に集合し、活動要領説明を受けた後に各担当エリアでの活動を行いました。

上生川の土手には背の高さほどにもなる草が生い茂り、作業前は川の流れも見えない状態でしたが、各人が草刈り鎌などの道具を持ち、汗を流しながら作業を続けると段々視界が晴れ、川面も見えてきて、11:00過ぎには全ての除草が終わりきれいな川の流れが戻ってきました。工場周辺の清掃作業も終わり、爽やかな春の風を感じながら、きれいになった工場周辺の景色を眺めるのは本当に気持ちの良いものでした。作業終了後は、構内に咲き誇る80本の桜の下で親交を深めました。この活動は27年間継続しており、年々参加者数が増加しています。これからも周辺美化活動に力を入れ、地域に貢献できる工場を目指します。



上海植樹活動(上海)

三菱電機グループとして、中国香港拠点25社より約80名が参加し、上海で植樹活動を実施しました。CSRの一環として中国における企業市民としての責務を果たすだけでなく、上海地域の関係者と一体となって活動することで、中国地域社会への貢献と環境保護を実践しました。



里山保全活動 秋の里山企画「親子で楽しむ自然観察会 in 東谷山」(名古屋)

名古屋製作所里山保全活動は、当社社会貢献活動の一環として取組んでおり、2007年6月から美化活動、森林整備、自然観察・工作教室など開始しています。今回は2008年11月22日に東谷山※1で「親子で楽しむ自然観察会in東谷山」と題した初めての親子参加型イベントを開催し、子供15名を含む49名が参加しました。愛知守山自然の会※2の森林インストラクターの方に説明をいただきながら、紅葉する東谷山の植物を観察し、その後、木の枝を材料にした工作教室をしました。自然に向い合う子供たちの真剣なまなざしがとても印象的でした。

今年も開催し、たくさんの方に自然観察などを通じて自然との共生を体験していただき、環境に対する意識を高めていただきたいと思います。

※1 東谷山:名古屋製作所が愛知県と締結した「企業との森づくり協定」に基づき里山保全活動の拠点としている名古屋市守山区にある約5haの県有林。

※2 愛知守山自然の会:名電の里山保全活動に理解を示していただき、活動の企画・実施に関し支援・協力いただいている団体。



里山保全活動(兵庫県篠山市油井地区)

2007年12月に社会貢献同好会を立ち上げ、自主参加の活動メンバーを募り2009年2月現在で55名の登録です。活動地はJR福知山線の草野駅から徒歩15分にある兵庫県篠山市油井地区の共有林です。活動は年7回(1月、2月、3月、5月、6月、11月、12月)で、平均1回約20名。地元、行政、当社で「油井鎮守の森を守る会」を発足し、定期に活動についての打合せをしています。

9:30集合で午前中の約3時間を森林整備活動、午後は森で観察や工作を楽しんでいます。森林整備活動は40年間放置された自然林を「子供たちが遊べる広場づくり」を目指して、間伐、遊歩道整備を行っています。

都会とは全く違う空気と森林浴、そして木々を整備することでメンバー全員が森のパワーをもらっています。



MVクラブ 環境ボランティア「森のめぐみ塾」(中津川)

中津川地区では、MVクラブ(三菱電機株式会社中津川製作所ボランティアクラブ)を中心に様々なボランティア活動を行なっています。

2008年度からは年に3回、里山活動と併行して、環境ボランティア「森のめぐみ塾」を開始。市や地元団体・市民と協力し毎回40名程度の参加者が、下草刈や間伐などの作業に約2時間ゆっくりと汗を流します。また親子と共に自然について学ぶ「野外教室」や自然にあるものを使って遊ぶ「森のめぐみ大会」も同時開催しており、自然の大切さについて参加者の皆さんと一緒に学んでいます。今後も「継続」をキーワードに、地域の方々や地元団体と協力しながら、フィールドである県立公園「根の上高原つつじ園」が美しくなり、県内外から多くのお客様を迎えられることを目標に活動を進めます。



「里山保全プロジェクト」安倍川清掃ボランティア活動(静岡)

静岡地区では、静岡市環境局が企画した「アドプトプログラム」(河川との縁組)に参画し、2003年より安倍川清掃ボランティア活動を実施しています。今回で16回目を数える安倍川清掃ボランティア活動を2008年10月11日(土)安西橋上流広場(安倍川西側)で実施し、68名(内子供13名)が参加しました。

以前に比べゴミの回収量は少なくなりましたが、安西橋の下・駐車場・グランド周辺にはタバコの吸殻、菓子袋等が落ちていました。

この活動は、当所近隣地域の環境美化の一助となる他、当所従業員の環境に対する意識、マナーの向上に役立つことから、今後も数多くの従業員が参加できるよう、継続的に実施していきたいと考えています。



富士山育林ボランティア活動(東京)

1996年の台風被害を受けた国有林の再生を目指すプロジェクト「まなびの森」(住友林業主催)活動へ参加しています。自然との共生を体感するとともに、職場の同僚、家族、友人など仲間を集い、富士山の雄大な自然の中でともにいい汗を流す爽快さは、普段経験できないものです。



科学技術振興

つねに進歩してゆく科学技術、次世代の新技术…。

それらを担ってゆく人たちの向学心や探求心をできるかぎり伸ばしてあげたい…

そんな想いで、中学・高校生の表彰や奨学金支給など、若い人たちの科学を学んでゆく気持ちを応援しています。

タイ三菱電機財団「奨学金プログラム」

1995年から開始したプログラムで、毎年3つの工学系大学の学生45名に対し奨学金を支給しています。学業優秀ながら、家からの仕送りが少なく学業に支障がある学生が対象で、タイの科学技術の発展の一助となっています。



近隣小学校への「環境出張教育」実施（鎌倉）

鎌倉製作所の地域環境保護活動の新たな取組みとして、2008年12月9日に近隣小学校の5年生40名を対象とした「出張環境教育」を実施しました。

小学生が環境活動への関心を高めることを目的とし、鎌倉製作所の概要（事業内容）や日常から社員が取り組んでいる環境活動を紹介しました。特に、1997年に採択された「京都議定書」などの条約へ貢献するため、温室効果をもたらすと言われている二酸化炭素やメタンなどの濃度分布を宇宙から観測する「温室効果ガス観測技術衛星 いぶき（GOSAT）」の衛星システムを鎌倉製作所が担当していることや、生産上排出する水の3R（リデュース、リユース、リサイクル）活動などを紹介し、身近な取組みで地球環境へ貢献できることを実感してもらう良い機会となりました。

児童たちからは、様々な質問が挙げられて活気あふれる授業となり、今後も地域の小学生へ環境に対する知識と意識の育成のため、出張授業を継続して取り組みたいと考えています。



ユニバーサル技能五輪国際大会（静岡）

2007年11月、静岡県において「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」が、従来の「技能五輪国際大会」と「国際アビリンピック」を初めて同時開催するかたちで挙行されました。「技能五輪国際大会」は、職業訓練の振興と技能水準の向上を目的として世界の若者が技能を競う国際大会。「国際アビリンピック」は、障がい者の職業的技術の向上や障がい者に対する社会一般の理解の増進を図る目的として、障がい者が技能のレベルを競う国際大会です。当社は、この国際大会の趣旨に賛同し協賛いたしました。



地域貢献

地域とのコミュニケーションは企業と市民が同じ社会で生きてゆくために大切です。心安らぐ地域づくりのために、良き企業であり良き市民であることをめざし、社員ひとりひとりの自発性・創意を基盤に、ボランティア活動や独自のコミュニケーション活動を全国の事業所で展開しています。

タイ三菱電機財団「小学校への昼食支援プログラム」

1999年1月より開始したプログラムで、タイ文部省より推薦された小学校30校に対して毎年各1万バーツを寄付しています。

小学校はこれをもとに肥料や飼料を購入して、野菜の栽培や家畜を飼育の上、貧困のために昼食が充分にとれない小学生の給食に充てています。



芝桜植栽ボランティア活動(群馬)

太田市社会貢献活動連絡協議会の呼びかけで、地元尾島地区に建設中の「利根備前島水質浄化センター」の敷地に市民・地域住民の憩いの場を作る計画に協賛し、45,000本の芝桜植栽活動に参加しました。植栽作業は上州名物「からっ風」の寒風吹きすさぶ中、商工会や中学生等とともに1人1区画(1m²)100株を懸命に植え込みました。(2008年3月8日)



「MVクラブ」の地域活動(中津川)

三菱電機中津川ボランティアクラブ(通称MVクラブ)は、今年も市内養護施設の夏祭りのお手伝いに引っぱり風でした。

3カ所の施設で延べ30人強が五平餅や綿菓子、かき氷等の模擬店を出店し、どこも大盛況でした。MVクラブは今後も地域社会への貢献に取り組んでいきます。



飯田工場で収穫したりんごを福祉施設に寄贈(中津川)

毎年暮れに、飯田工場の構内で収穫したりんごを地元(中津川・飯田市)の社会福祉施設に寄贈しています。

昨年は猛暑と相次ぐ台風に見舞われ不作を心配しましたが、色付きなど生育状況は例年通り。たくさんのおりんごを寄贈でき、多くの方々に喜んでいただきました。



「長岡京ガラシャ祭2008」町衆祝い行列参加(京都)

長岡京市の市民まつり「長岡京ガラシャ祭」は毎年11月に開催され、今年で第17回目を迎えました。京都地区では、地域に密着したコミュニケーション活動の一環として1992年から市民まつりとして開催されている長岡京ガラシャ祭りに参加しています。

みこし参加は今年で16回目。2008年度は当地区で生産している三菱液晶テレビ「REAL」を取り込んだ『REALみこし』にリニューアル。従業員100人規模で行列に参加し、まつりに彩りを添え、大いに祭りを盛り上げました。



「子供がん基金」とのクリスマスパーティー(シンガポール)

2008年12月6日、三菱電機アジアは、クイーンズタウン・COMMONWEALTH町内会と共同で、「子供がん基金」が支援している子供達とのクリスマスパーティーを開催しました。この子供達は余り裕福ではない家庭の子供達で、日夜、病気と薬の副作用と闘っています。

子供達は入口でプレゼントを貰い、さらにラッキードロー(抽選)で贈り物を貰いました。これらの贈り物は、クリスマスの日でも恵まれない人たちに、何かをしてあげたいという従業員からの贈り物でした。当日、子供達は多くのクリスマスプレゼントを貰い大喜びで、満面の笑顔と共に家に帰って行きました。



日本語教育支援(台湾)

三菱電機台湾とグループ各社は、2008年5月に開催された「全国大学生・日本語弁論大会」の sponsor となり、台湾における日本語教育の支援を行いました。15の大学と高専からの参加者が、流暢な日本語で熱弁をふるいました。

三菱電機台湾は、台湾における主要な日系企業の一社として、日本語の専門家の育成を支援しています。



文化・スポーツ

毎日を楽しんでくれるもの、生活に喜びをくれるもの。
文化やスポーツ活動は、国境や言葉の垣根を超えて広がっていきます。
人間性・創造性・グローバル性…。

「バドミントン・サマー・クリニック in 北海道別海町」

一般の方や中学生・高校生を対象に、伊丹事業所バドミントン部によるクリニックを開催。
受講者は日本リーグ活躍のコーチ・選手の実力を体感し、直接指導に感激の様子でした。
町長をはじめ関係者から賛辞、謝意を受け有意義な社会貢献活動となりました。



10周年を迎えた「ジュニアバスケットボールクリニック」(仙台)

少年選手のバスケットボール技術の向上・人材育成のため、日本リーグのコーチ・選手を指導者として招き、仙台市の小中学生・知的障がい者の方(全209名)を対象にバスケットボール教室を実施しました。
2005年で10回目を迎え、宮城TV放送でも特別企画番組が放映されました。

高校生テニスクリニック(鎌倉)

三菱電機テニスチームは日本のトッププロも参戦するテニス日本リーグに加盟して活躍しています。
チームに所属するプロ選手や社員選手が工場にあるテニスコートを利用して、鎌倉地区にある公立高校の生徒100名にテニスクリニックを実施しました。
プロ選手のサービスリターンにチャレンジなど楽しいイベントに生徒達は大喜びしてくれました。



バスケットボール・クリニック(名古屋)

三菱電機男女バスケットボールチームは日本リーグ、全日本総合選手権大会(オールジャパン)他において、日本のトップレベルチームとして活躍しています。

また、各地での小・中学生対象バスケットボール教室にコーチ・選手を定期的に派遣し、バスケットボール普及のために積極的に活動しています。

[三菱電機バスケットチーム公式ページはこちら](#) 



パラオ音楽祭への協賛(スペイン)

欧州三菱電機・スペイン支店は、数年間にわたり、将来有望な若手音楽家を支援しています。ユネスコの世界遺産にも登録され、世界的に一流のコンサートホールであるバルセロナの「パラオ音楽堂」で毎年行われる、若手音楽家の登竜門「パラオ音楽祭」を協賛しています。

予選を勝ち抜いた出場者の中から、本選で優勝者が決められ、賞金が授与されます。しかし、パラオ音楽祭に出場すること自体が音楽の世界においてプロの道へのステップと考えられており、現実的には出場者全員が優勝者であるような音楽祭です。



若手音楽家の育成(フランス)

音楽を通じて我々の生活を魅了してくれる人材は、音楽のキャリア形成を支援したり激励するに値する人達であるとの考えから、欧州三菱電機は、若手音楽家を発掘し、才能を伸ばしていくことを主目的とした独立系音楽レーベル「Intrada」(イントラーダ)と協賛関係を構築しています。

そして、年間1枚のCDを出すことを若手音楽家に約束し、また素晴らしい音楽と有能な人材を求めている鑑賞者を招待して、一流のコンサートを開催しています。



災害支援

岩手・宮城内陸地震の被害に対する支援について(東北)

三菱電機株式会社は、2008年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震被害への支援として、三菱電機株式会社で総額500万円の支援を行いました。

三菱電機 中国・四川大地震の被害に対する支援について(中国)

三菱電機グループは、2008年5月12日に発生した中国・四川大地震被害に対する支援として、総額約5,000万円(救援物資の提供を含む)の緊急支援を行いました。

あゆみ

1990年9月	社会貢献活動委員会設置
1991年2月	米国三菱電機財団設立
12月	タイ三菱電機財団設立
1992年4月	マッチングギフト制度「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」設立
1993年7月	経済広報センター「企業広報賞」受賞
1994年4月	中津川製作所ボランティアクラブ(MVクラブ)立ち上げ
1996年4月	稲沢製作所ボランティアクラブ(MIVクラブ)立ち上げ
4月	ヘルスケア・ボランティア休暇制度導入
9月	米国環境保護庁(EPA)Best of the Best賞受賞
1998年6月	群馬製作所ボランティアクラブ(MGVクラブ)立ち上げ
1999年1月	タイ三菱電機財団「小学校昼食支援プログラム」スタート
2000年5月	米国三菱電機財団「2000年度ヘレン・ケラー実践賞」受賞
9月	日本赤十字社紺綬褒章受賞
12月	本社手話ボランティアサークル(遊話ダイヤサークル)立ち上げ
2001年9月	米国同時多発テロ被災者救済・復旧支援
2002年8月	中国青海省情報センター寄贈
2004年7月	昭和天皇記念献血推進賞(日本赤十字社)受賞
11月	新潟県中越地震被災地支援

2005年1月	スマトラ沖地震被災地支援
10月	米国ハリケーン被災地支援
2007年4月	能登半島地震被災地支援
7月	新潟県中越沖地震被災地支援
10月	愛知県「企業の森づくり」事業の協定第一号締結
2008年3月	「三菱電機SOCIO-ROOTS基金」寄付金累計5億円突破
3月	兵庫県丹波県民局「企業の森づくり」事業の協定第一号締結
3月	本社地区富士山育林ボランティア活動拡大
5月	中国・四川大地震被災地支援
6月	中津川市「根の上 生きた自然公園」づくり協定締結
6月	岩手・宮城内陸地震被災地支援
2009年4月	静岡製作所・里山保全プロジェクト参加

アーカイブス



社会福祉

誰もがいきいきと暮らせる社会をめざして、障がい者の方への支援・基金活動や高齢者の方への医療支援など積極的に取り組んでいます。

地域貢献

心安らぐ地域づくりのために、ボランティア活動や独自のコミュニケーション活動を全国の事業所で展開しています。

地球環境保護

省エネルギー・省資源・リサイクルなど、企業活動の全ステージにおいて地球環境への配慮を忘れることなく、きめ細かい活動を続けています。

文化・スポーツ

毎日を楽しんでくれたり、生活に歓びをくれる、文化やスポーツ活動は、国境や言葉の垣根を超えて広がっていきます。

科学技術振興

次世代の新技术を担ってゆく若い人たちの向学心や探求心を伸ばすために、中学・高校生の表彰や奨学金支給などで応援しています。

災害支援

災害時の支援について

社会福祉



障がい者スケートへの支援(アメリカ)

米国三菱電機財団を通じて障がい者のスケートによる身体訓練を支援しております。スケートによる障がい者の体力強化、平衡感覚の滋養を目的としてボランティアが障がい者と一体となって氷上で練習するものです。障がい者用に特殊な補助具(ウォーカー、ハーネス等)が使用されております。



三菱社会貢献連絡会「観劇の会」

三菱グループ企業で構成する三菱社会貢献連絡会では、一社では実現できないスケールの大きなプログラムを実施すべく、積極的な活動を行っています。

2005年度は、9月11日(日)にペルーのヒューゴ&イネスによるパントマイムショー「ショートストーリーズ」の公演を独自に企画・開催し、児童養護施設の子も達や聴覚障がいの子も達、母子支援施設入居者など約450人を招待しました。



ハートフル海外旅行(稲沢)

三菱電機稲沢ボランティア会では、平成11年から障がい者とその介護者による海外旅行を支援。旅行には当社社員もボランティアとして同行しました。



リングプルを集めて車椅子を贈ろう(北海道)

北海道支社では2002年6月からアルミ製リングプル(缶ジュース・ビール等のプルタブ)を集めて車椅子に交換、地域の福祉協議会に寄付する活動に参加しています。



紅菱会 軽音楽部 JAZZバンド<ミュージック・ラブ>のボランティア活動(兵庫)

昭和48年(1973年)結成の紅菱会(伊丹地区文化体育活動)軽音楽部は音楽を通し社会貢献活動を行なっています。

養・介護施設慰問や地域行事への出演依頼があり、知的障がい者通所授産施設のふれあいカーニバルに出演しました。

イケてる音楽を聞かせてくれたと評判で、次の訪問を今から心待ちにされています。



地球環境保護



メダカの学校も始業式(福岡)

事業所の構内を流れる旧・松本川の土手に土筆(ツクシ)が顔を出す頃、川の中では“メダカの学校”が始まっています。

雨水と工場排水しか流れてこないこの川に生息しているメダカは、事業所の工場排水の安全性や環境に対する取り組みをますものとして地元新聞に「三菱メダカ」と紹介されました。



クリーンアップ作戦(伊丹)

「ポイ捨てしない三菱マン、きれいな町好き三菱マン」を合い言葉に、毎月1回(日曜日)最寄り駅から事務所までを清掃しています。

この活動に対して「尼崎市コミュニティ活動功労者賞」を授与されました。



第24回工場緑化推進全国大会「経済産業大臣賞」受賞(福岡)

(財)日本緑化センター主催の第24回工場緑化推進全国大会において、パワーデバイス製作所が経済産業大臣賞を受賞しました。

この賞は工場の緑化を積極的に推進し、工場内外の環境整備に顕著な功績があった工場を表彰するもので、平成17年度は熊本工場を含め、全国で6つの工場が表彰を受けています。



地域貢献



演奏会でスマトラ島沖大地震の募金呼びかけ(神奈川)

鎌倉芸術館にて三菱電機ソシオテックウインドオーケストラの演奏会が開催されました。会場において、2005年に発生したスマトラ島沖地震への募金を呼びかけたところ、230,556円のご賛同をいただき、「三菱電機ソシオテックウインドオーケストラ定期演奏会来場者一同」の名義にて日本赤十字社を通じて寄付しました。ご賛同いただいた皆様に、あつく御礼を申し上げます。



文化・スポーツ



3グラムのピンポンボールに子供達の思いを乗せて！（長崎）

長崎県で卓球クラブに所属する有志は、会社休日の土曜・日曜・祝祭日に地元中学校の指導を行なっています。

初心者の子供達に基本動作から指導し、最近では応用技術もできるようになりました。

練習の成果として出場した大会では、子供達のプレイと成長に父兄および顧問の先生共々喜びを感じ、更にもう一歩上を目指すために練習に取り組んでいます。



災害支援



新潟県中越沖地震の被害に対する支援について(新潟)

三菱電機は、2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震被害に対する支援として、総額1,000万円(救援物資の提供を含む)の緊急支援を行ないました。

能登半島地震の被害に対する支援について(能登半島)

三菱電機は、2007年3月25日に発生した能登半島地震被害に対する支援として、石川県に義援金100万円、救援物資として洗濯機20台と乾燥機10台を提供致しました。

福岡県西方沖地震における義援金・物資の寄贈(福岡)

2005年3月20日に発生した福岡県西方沖地震で特に被害が大きかった玄界島被災住民の方々の仮設住宅向けに、義援金百万円と義援物資(洗濯機50台)を福岡市に寄贈しました。これを機に防災対策を強化し、その対策の一つとして防災用品(ヘルメット、毛布、飲料水他)の社内配付を実施しました。



社を代表して、新潟県中越地震のお見舞いを贈呈(新潟)

2004年10月23日に発生した新潟県中越地震に際しては、当社として1,000万円の義援金および石油ファンヒータ400台を、新潟県災害対策本部に対し贈呈しました。また、三菱電機ソシオールツ基金は、社員からの寄付1,174万円と同額をマッチングさせ2,348万円を寄贈しました。

